HATTORI Sachi solo exhibition



press release 2024 2 14 KUNSTARZT-468

春は征く Spring is going

KUNST ARZT では、服部幸の個展を開催します。 服部幸は、曼荼羅のように、森羅万象をモノトーン調で 細密描写し、シンメトリカルに画面構成する 日本画アーティストです。

今年度の京都府新鋭選抜展での出品作「春を秘めて (2024)」は、不思議な色彩を映し出す鏡を中心に、樹木 が構図を構成し、装飾的な電話やハーブなど様々な事物 が時間の海に吞み込まれていくような、残酷さを併せ持 つ世界を表現しました。

日本古来からの感性である<もののあわれ>を内包して います。ご注目ください (KUNST ARZT 岡本光博)



経歴

2001年 福岡県生まれ

2022年 成安造形大学 芸術学部 美術領域 卒業

展覧会

2017年 大阪成蹊大学アートコンペディション 銀賞

2019年 ZEN展 絵画部門優秀賞 2019年 S展(成安造形大学/滋賀)

2020年 舞踏の残滓 (gallery hydrangea/東京) 2021年 ペン画の世界展 (AAAGallery/東京)

2022年 個展「還らない国」(成安造形大学/滋賀)

2024年 京都府新鋭選抜展

春を秘めて

2024

ペン/岩絵の具/胡粉/箔/ ファインテック / 和紙

 162.1×130.3 cm

コンセプト:「春を待つ」

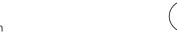
春の桜が咲くのを待つのは、秋の紅葉が散る のを望むことでもある。やさしさと残酷さを 併せ持つ時間、その流れの堆積によって作ら

れた世界で私たちは生きている。

2024年4月9日 (火) から14日 (日) 12:00 から 18:00

会 場: KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F



春は征く Spring is going

アーティストステートメント&展覧会のコンセプト

KUNST

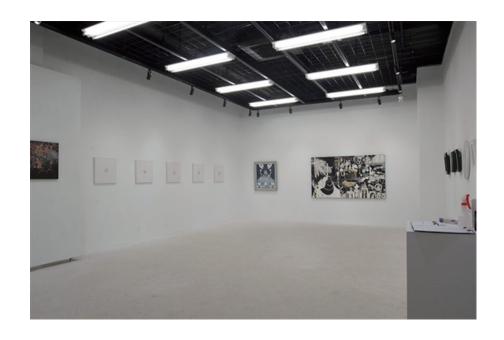
私たちはいつかいなくなる。 それはとても自然なことで、救いがあって、どうしようもなく痛い。 広大な宇宙の歴史から見れば、砂時計の一粒にすらならない私たちの日々が、 確かにここにあったことを、私たちが作ったものが遺していく。



Tea time paradox 2020 ペン/アクリルガッシュ 72.7×60.6 cm



そこに鼓動があったこと 2023 ペン/胡粉/和紙 45.0 × 45.0cm



個展「還らない国」(2022) (成安造形大学/滋賀)での展示風景